



チャタヌーガ市のティム・ケリー市長と対談する多田一彦市長

チャタヌーガ市との姉妹都市締結5周年記念事業 12月4日

姉妹都市の交流、これからも

本市と米国チャタヌーガ市の姉妹都市締結5周年を記念した同事業は、遠野市民センターで開かれました。両市長らがリモートで交流。▶平倉神楽の演舞▶米国ミュージシャンによる演奏▶市長対談——などを行い、両市の文化や風土を伝えました。菊池力さん(松崎町)は、「ビールが有名なことやサッカーが盛んなことなど共通点があり、チャタヌーガ市を身近に感じた」と声を弾ませました。



子どもも大人も一緒になって温もりあふれる演目を披露

令和4年度歳末助け合い演芸大会

12月11日

歌に踊りに、魅せられ笑顔

歳末助け合い演芸大会(遠野市地域婦人団体協議会主催)は市民センター大ホールで開かれました。各町婦人団体や有志、官公署など13団体が歌や踊りを披露。市民ら400人が来場し、趣向を凝らした心温まる演目を楽しみました。友人に誘われ来場した渋川タミさん(松崎町)は、「とにかく楽しかった。こうやって集まることも人とのつながり。うれしいね」と笑顔で会場を後にしました。



長谷川弁護士と生徒。トラブルかもと思ったら☎188で電話相談を

県内初・弁護士による高校生への出前講座

12月14日

消費者トラブル、弁護士から学ぶ

消費者教育出前講座が遠野緑峰高(高橋堅校長、生徒125人)で開かれ、1年生42人が消費者トラブルに関する知識を深めました。長谷川頌弁護士(盛岡市)が講話。気付く力・断る力・相談する力や、一人で抱え込まないことの大切さなどを熱心に伝えました。伊藤剛さんは、「相談ダイヤル188は知っていたけど抵抗があった。恥ずかしがらずに電話することが大事だと学んだ」と感想を話しました。



遠野町第13区自治会の事例から環境について学ぶ参加者



教えて！SDGs ゴール6。 「安全な水とトイレを世界中に」

ゴール6の目標は、すべての人が安全な水と衛生的な環境を使えるようにすること。遠野町第13区自治会では、「螢の郷づくり事業」を通じて、水環境と自然環境を綺麗にし螢が住みやすい環境を整備しています。世界には不法に投棄されたゴミなどが原因で飲み水が汚染され、安全な水を飲めない人がいます。川や海の生態系を守ることは、綺麗な飲み水を作ることにもつながります。

11月17日 スマート農機実演会

農業機械の進化、見て触れて

同実演会(遠野地域スマート農業研究会主催)は、情報通信技術などを活用したスマート農業の普及や農業への関心を高めてもらおうと遠野緑峰高で開かれました。同校生産技術科1年生ら約50人が参加。自動操舵システムを搭載したトラクターによる荒耕起作業を見学し、先進技術を学びました。佐藤光さん(同校1年)は、「農業の進化を実感し、スマート農業を考える一步になった」と声を弾ませました。



自動で直進できるトラクターによる作業を体験・見学する高校生ら

11月20日 第11回遠野市郷土芸能共演会

3年ぶり、伝統の舞に心も踊る

郷土芸能共演会(遠野市郷土芸能協議会主催)は市民センター大ホールで3年ぶりに開かれ、市内6団体が伝統の舞で観客を魅了しました。市民ら130人が来場。神楽とし踊りを楽しみました。コロナ禍で約3年、発表の機会がなかった千田乙華さん(遠野緑峰高1年、山谷獅子踊り保存会)は、「久しぶりの舞台は緊張したけれど、踊れてうれしい。みんなで集まるのも楽しい」と喜びました。



恵比須舞を披露する上宮守神楽保存会

11月27日 第22回遠野どべっこ祭り

できたてどぶろくを堪能

同祭りは遠野ふるさと村で開かれ、18人が参加。▶語り部の昔話▶カッパおじさんのトークショー▶神楽の披露——などの催しと、どぶろくや郷土料理を堪能しました。どぶろくを飲み比べる「勝手に岩手のどぶろく選手権」も開催。参加者はお気に入りの1杯を探していました。阿部考志さん(滝沢市)は、「初めての参加。会場の雰囲気が良く、催しは楽しく、どぶろくも料理もおいしかった」と笑みを広げました。



できたてのどぶろくと郷土料理を堪能する参加者

12月3日 「第20回ハートフルステージ」3年ぶりに

「大切な人権」音楽と言葉で伝える

ハートフルステージはえりあ遠野中ホールで開かれました。市民ら約100人が参加。小中学生や市民団体などが▶人権作文▶わたしの主張▶昔話▶ピアノ演奏——などを披露し人権の大切さを伝えました。花巻人権擁護委員協議会遠野地区連絡会会長の中浜清輝さん(上郷町)は、「思いやりを持ち、楽しく幸せに生き生きと暮らせるよう、皆さんも人権のことを考えてみてほしい」と願いを込めました。



「手のひらを太陽に」を手話と歌で披露する宮守手話サークルやまゆり